

森山明子

デザイン・ジャーナリズム 取材と共謀 1987→2015

この一冊を読めば、〈デザイン脳〉を
存分に鍛えることができる。

——佐藤 卓 グラフィックデザイナー

〈デザイン・ジャーナリズム〉が、
もっと市民権を得ることを切望する。

——深澤直人 プロダクトデザイナー

これは森山明子によるデザイン・ジャーナリズムの実践。
三十年近くにわたる渾身の取材・執筆、その記録である。

画 川口起美雄

デザイン・ジャーナリズム 取材と共謀 1987→2015

著者 森山明子

A5 判変型・並製・384 頁

本体 2800 円 + 税

発行：美学出版 2015 年 7 月発行 ISBN 978-4-902078-39-8

昭和から今日まで、めまぐるしく移り変わるデザイン。デザインジャーナリストとして、その現場に立ち会った著者の執筆活動から八十本余りを厳選して編んだ一書。徹底して人間肯定の思考であるデザインは、その点ではニュートラルな技術とも、否定を契機とすることの多いアートとも異なる。こう考える著者がデザインとクロスする表現者も視野に入れ、変わるデザインと変わらない人間精神の相関、人の生を下支えするデザイン像に迫る。

著者略歴

森山明子 Akiko Moriyama デザインジャーナリスト、武蔵野美術大学教授

1953年新潟県生まれ。1975年東京芸術大学美術学部芸術学科卒業。特許庁意匠課審査官、国際デザイン交流協会勤務を経て、1986年日経マクロウヒル社（現・日経BP社）入社。「日経デザイン」の創刊にかかわり、1993-98年同誌編集長。1998年から現職、デザイン情報学科所属。NHKハート展詩選考委員、グッドデザイン賞審査副委員長、芸術工学会副会長・理事、公益財団法人の三宅一生デザイン文化財団理事、日本デザイン振興会評議員などをつとめる。主著は『まっしぐらの花——中川幸夫』、『石元泰博——写真という思考』、『新井淳一——布・万華鏡』。

[主要目次]

序——日付のあるデザイン、日付のいないアート

I [Design History] 昭和デザインのパイオニアたち
河野鷹思、岡秀行、亀倉雄策、豊口克平、真野善一、
山脇道子、小池千枝、浦辺鎮太郎、石元泰博……

II [Design Journalism] 時代の諸相を描出する
デザイン批評における瀧口修造と勝見勝、
狂える時代の〈デザイン〉の水脈、
世界の中の日本のデザイン、デザイン思想の中の CUD、
サインデザインの視点、私の選んだ一品、
対談・柳宗理+三宅一生、デザインの二十一世紀へ、
デザイン・ジャーナリズムって何ですか？……

III [Design Culture] デザインカルチャー断章
卵と文庫本は似ている、何もない空間のための家具、
内藤廣・未必の故意、うつわの時空の余白に…、
「新井淳一の布 伝統と創生」展に寄せて、
デザイン・ミュージアムって何ですか？……

IV [Design/Art/Sprints] 言語と視覚言語の交感
中川幸夫の〈天地創造〉、写真と写真集の理想、
人はどのようにして表現者となるのか、
岩絵具の粒子による「幸福」と「永遠」、
NHK ハート展選評……

注 文 書

全国の主要書店・美術館などでお求めいただけます。お急ぎの場合は小社HPからお申し込みいただくか、または直接メール・FAXにてご注文ください。

森山明子 著 『デザイン・ジャーナリズム 取材と共謀 1987→2015』を 冊申し込みます。 ISBN 978-4-902078-39-8

ご氏名	Eメール
ご住所（〒 - ）	
お電話	FAX

*弊社から直接ご購入いただけます（入金確認後、直送。送料は当方負担）。
HPから、またはFaxおよびメールにてお申し込みください。
折り返しご入金方法等をご案内いたします。

美学出版

〒164-0011 東京都中野区中央 2-4-2 第2 豊明ビル
Tel. 03-5937-5466 Fax. 03-5937-5469
e-mail: info@bigaku-shuppan.jp http://www.bigaku-shuppan.jp

好評既刊書のごあんない

新井淳一

Jun-ichi ARAI: The Dream Weaver

布・万華鏡

森山明子

A5判・上製・320頁
(カラー8頁/図版175点)
本体4200円+税
ISBN 978-4-902078-30-5



ファッションの裏方だったひとりのテキスタイルプランナーが50歳、一夜にして世界の檜舞台に立った。

1987年に英国王室芸術協会から日本人では3人目の名誉会員 (Hon. R.D.I.=ロイヤル・デザイナーズ・フォー・インダストリー) に選ばれ、1992年には国際繊維学会から日本人初のデザインメダル (テキスタイルデザイナー勲章) を授与される。世界各都市での個展、企画展、ワークショップ、講演は枚挙にいとまがない。新井淳一は文字通り、未来を紡ぐ布のフューチャリストと言える。「布の詩人」、「織物の魔術師」、「ポスト・インダストリアル・クラフトマン」……。新井は「ドリーム・ウィーバー」(夢を紡ぐ人、夢織人) と形容される。

ファッションの伴走者、発明家、民族衣裳蒐集・研究家、教育・伝道者、エッセイストという五つの万華鏡のごとき多彩な顔をもつ新井。六十年に及ぶ膨大な自作コレクションと民族衣裳の蒐集品、四百本に迫る新聞・雑誌連載のエッセー、国内外の媒体で書かれた多数の記事を有する新井の足跡をたどれば、アートとデザインをまたぐ世界の布の戦後が一望できる。複雑な組成と独特の風合いをもつ「新井淳一というテキスタイル」、その作品とテキストを通して、世界的なテキスタイルデザイナー新井淳一を読みほく好著。

【主要目次】

プロローグ

第一章 ファッション・素材の時代に

第二章 テクノロジストの思考回路

第三章 精神の拠り所としての民族衣裳

第四章 桐生人として

第五章 「ドリーム・ウィーバー」アジアに行く

第六章 エッセイストとしての顔

第七章 来たるべきデザイナー

エピローグに代えて

新井淳一年譜・書誌

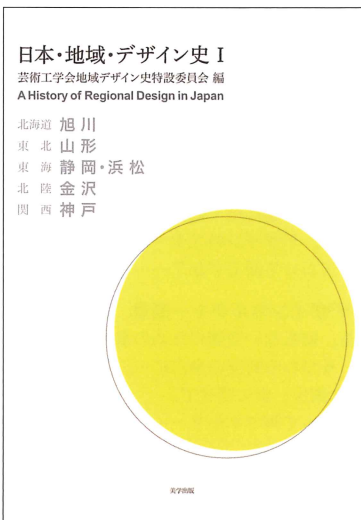
日本・地域・デザイン史 I

芸術工学会地域デザイン史特設委員会 編

A History of Regional Design in Japan

Design Research Association

A5判・並製・234頁 本体2000円+税 ISBN 978-4-902078-34-3



なぜいま地域デザイン史なのか

この半世紀、デザイン活動は日本の各地に根づいてそれぞれ独自の展開をはじめた。しかし、これまで発刊された日本デザイン史にその動きを見出すことは難しい。

手にできるいわゆる日本デザイン史は、中央の動きを中心にした、また中央の視点で語られ伝えられてきたものがほとんどであった。……研究分野には地域の事柄を深く追求したものも少なくないが、研究の宿命でともするとそれぞれのテーマにしぼられがちで地域の大きな流れや全体像はつかみにくい。

日本各地のデザイン史は、その地域が編纂しない限り存在しない。……迫り来る難局に地域デザインはこれからどう対峙したらいいのか。……地域自ら考え道を切り拓く時代である。歴史は、その際の知恵の宝庫なのである。

……多くの貴重な資料の散逸も予想される。語られ記されているものや記憶にあるものを含めて、ひとつの箱に収めておきたい。

地域デザイン史編纂が、デザイン学研究の一カテゴリーとして定着し、地域社会の指針の役割を果たすことを期待してそれを芸術工学会の学会活動のひとつに位置付けた。まず一歩を踏み出したのが本書である。

(「なぜいま地域デザイン史なのか」より抜粋)

【主要目次】

なぜいま地域デザイン史なのか

1 北海道 旭川 Hokkaido ASAHIKAWA

2 東北 山形 Tohoku YAMAGATA

3 東海 静岡・浜松 Tokai SHIZUOKA, HAMAMATSU

4 北陸 金沢 Hokuriku KANAZAWA

5 関西 神戸 Kansai KOBE

注文書

お近くの書店店頭在庫がない場合は、お取り寄せいただけます。ご注文ください(地方・小出版流通センター扱い)

書店名

新刊

デザイン・ジャーナリズム 取材と共謀1987→2015 森山明子【著】

本体2,800円+税/384頁/A5判変型/並製/ISBN978-4-902078-39-8 C0072

冊

関連書

新井淳一 布・万華鏡 森山明子【著】

本体4,200円+税/324頁カラー・挿図多数/A5判上製/ISBN978-4-902078-30-5 C0072

冊

関連書

日本・地域・デザイン史 I 芸術工学会地域デザイン史特設委員会【編】

本体2,000円+税/234頁/A5判/並製/ISBN978-4-902078-34-3 C0072

冊

美学出版

〒164-0011 東京都中野区中央2-4-2 第2豊明ビル Tel: 03-5937-5466 Fax: 03-5937-5469 http://www.bigaku-shuppan.jp